

2019年9月13日

報道関係各位

大塚包装は環境経営総合研究所製造の紙パウダーを主原料とする シートを使用した化粧品用深絞りトレイを生産へ

大塚ホールディングス株式会社の子会社である大塚包装工業株式会社（本社：徳島県鳴門市、代表取締役社長：小松 喬一、以下「大塚包装」）は、環境問題に対応するため、株式会社環境経営総合研究所（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松下 敬通、以下「環境経営」）が製造する紙パウダーを主原料とするシートを使用した環境配慮型包材の開発に成功しました。

本来シート成形では、高さのある深絞りは難しいとされており、今回は、紙パウダーが主原料のため、さらに高度な技術を要します。そこで、大塚包装の長年にわたる成形のノウハウを活用し、高さが高くなっても安定した品質を保てる製造方法を確立したことにより、日本で初めて化粧品用深絞りトレイの製品化が決定しましたのでお知らせいたします。

本技術により、世界的な環境問題の一つとされるプラスチック原料を従来の同製品に比べて約5割削減することが可能になります。2019年9月16日から販売する株式会社コーセーのスキンケア商品、雪肌精の限定キット用トレイに採用されました。トレイはしっかりと、やわらかい触感で高級感があります。

商品写真



大塚包装では、日頃より自社の成形技術を応用し、様々な形状の容器、包材の開発に取り組んでいます。当社の代表取締役社長の小松喬一は「環境負荷の低減を可能にする製品を開発できたことは大変有意義と考えています。今後も環境配慮型の製品を他の分野にも展開し、社会に貢献してまいります」と述べています。

環境経営は、1998年に創立し、紙パウダーと合成樹脂の混成ペレットを成形したペレット、シート、発泡断熱材・緩衝材等の各種紙製の製造および販売を行っています。代表取締役社長の松下敬通は「当社の技術・製品が世界主要国で流通し、MADE IN JAPANを高らかに唱えることができるよう、精進したいと思います」と述べています。

大塚包装は、1912年に創立し、「夢をかたちに」という経営方針のもと、製品価値をより効果的に伝えられるパッケージづくりを目指し、企画・開発・製造・販売までを総合的に行っています。代表的な製品として、食品の付着低減台紙、改ざん防止箱、テープレス箱、冷凍食品用の超耐寒耐熱トレイ等があります。

* 本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

製品概要

名	前	紙パウダーを主原料とした環境配慮型成形品
特	徴	① 紙パウダーを51%以上含有 ② 従来品に比べて燃焼時のCO2が削減可能 ③ 燃やせるゴミとして廃棄可能 ④ 紙独特の風合いを再現しマットな質感を実現
製	造	販売
		大塚包装工業株式会社

株式会社環境経営総合研究所 (Eco Research Institute Ltd.)

創	立	1998年2月1日
資	本	金
		4億7,000万円
代	表	者
		代表取締役社長 松下 敬通
本	社	所
		在
		地
		〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番29号グリーン南平台ビル2階
従	業	員
		数
		181名(年月日 現在)
事	業	内
		容
		紙パウダーと合成樹脂の混成ペレットを成形した各種紙製製品の製造 および販売
U	R	L
		https://ecobioplastics.jp/

大塚包装工業株式会社 (Otsuka Packaging Ind. Co., Ltd.)

創 立	1912年2月1日
資 本 金	5,800万円
代 表 者	代表取締役社長 小松 喬一
本 社 所 在 地	〒772-8511 徳島県鳴門市大津町木津野字東辰巳1番地
従 業 員 数	350名 (2018年12月31日現在)
事 業 内 容	包装企画、印刷紙器、美粧段ボールケース、プラスチック成形品、 商業印刷の製造、販売
U R L	http://www.otsuka-houso.co.jp/

本製品に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

「紙パウダーを主原料とした環境配慮型成形品」

大塚包装工業株式会社 開発部 TEL:088-677-8837